

平成29年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立有功小学校

校長名 大橋 はるみ

作成日 平成29年5月2日

学校教育目標

健康で豊かな人間性をそなえ、楽しく取り組める子どもの育成

育てたい子ども像

生命を大切にする子

仲良く力をあわせる子

進んで勉強する子

		開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	食に関する教育の推進
本年度の重点目標	(1) 保護者や地域の人材をより一層活用し、積極的に学習活動を公開していく。 (2) 保護者や地域の方が学校に親しみを感じ、学校行事等に参加しやすい学校づくりをめざす。	(1) 体験活動を充実させ、子供たちに体験を通して豊かな感性を育む。 (2) 道徳教育等を通じて、豊かな心を培い、「仲良く力をあわせる子」「生命を大切にする子」の育成をめざす。 (3) 読書の楽しさを味わい、読書活動を推進する。	(1) 基礎学力の定着と学力向上をめざす。 (2) 課題解決学習を中心に、児童が楽しくわかる授業を推進していくために、授業の改善に努める。 (3) 家庭と連携し、家庭学習の定着を図る。	(1) 自らの望ましい食生活について考え、健康的な生活を実践できる子どもの育成をめざす。	
	(1) 学校だより（いさおだより）地域だより（有功っ子）・学年・学級通信・ホームページなどで、学校の考え方や子どもの様子を地域・保護者に知らせる。 (2) 授業参観・学級懇談会・教育講演会・運動会等を通して、子どもの活動を広く保護者に知ってもらい、保護者の教育に対する意識を高める。 (3) 長寿会との交流を図ったり、地域の伝統文化（有功踊り）を取り入れたりするなど地域とより良い連携を図る。	(1) 見守り隊や地域の方々への積極的な児童からのあいさつや校門指導での「あいさつ運動」を推進し、コミュニケーションを図る。 (2) 児童の心に響く豊かな体験活動を行い、道徳教材を活用し、子どもの感性を高める。 (3) 読み聞かせ等の外部団体の協力を得ることや家庭や学校での読書活動を推進することで豊かな感性や想像力を育む。	(1) 「漢字の博士試験」や「有功タイム」放課後学習「チャレンジタイム」で基礎学力の充実に努める。 (2) 課題を明確にし、共に学び合う学習、書くことで考えをまとめることで学習を展開する。 (3) 「家庭学習のてびき」を作成、配布し、学力向上にむけての取組を浸透させるために、児童、保護者に啓発していく。	(1) 学校生活及び生活科や総合的な学習、特別活動において、食に関する実践研究を子どもの課題解決学習を中心進めること。 (2) 「生活リズムチェック」を年3回行い、基本的生活習慣の自立を促し、心身共に健康な児童を育成すること。 (3) J A等関係機関との連携を図ること。 (4) 研究の成果をまとめ、結果の検証をし、来年度の研究発表につなげる。	